

## ディボーション質問表



今週のエゼキエル書の箇所は、諸外国に対する審判（25～32章）とイスラエルの回復（33～39章）の部分です。

### 1日（月）エゼキエル書 32：1～16節 パロについての哀歌

1. 今日の箇所は、第12年12月（BC586年エルサレム陥落の数ヵ月後）にエゼキエルにあった主のことばです。この哀歌（2～8節）を読んで、髪のエジプトへの心情を汲み取ってみましょう。人が普通に下す評価とはどう違うのでしょうか？
2. 9～10節には、エジプトへの主の裁きを見る時の、まわりの民族の反応が預言されています。彼らの反応を見てどう思いますか？
3. 11～15節には、エジプトへの主の裁きのことばが語られています。その内容はどのようなものですか？このように語られる主の思いはどのようなものだと思いますか？

### 2日（火）エゼキエル書 32：17～32節 パロのよみ下り

1. 17節にある第12年1月は、32：1節よりおよそ1年前に語られた主のことばです。今日の箇所には、「割礼を受けていない者」（19節）という表現が9回も出てきます。それがどこに出てくるか、どのような意味で使われているかを書き出してみましょう。
2. この箇所には、エジプトのまわりにある弱小国の名前が出てきます。それらの国々が滅ぼされたようにエジプトも同じようになると言われています。この時のエジプトの人々の思いはどうだったと思いますか？

### 3日（水）エゼキエル書 33：1～20節 見張り人の務め

1. 「あなたの民の者」（2節）とは、エゼキエルとともにバビロンに捕囚となっているユダの民のことです。見張り人（2節）という言葉、及びその役割が書かれています。これは誰の事であると分かりますか？
2. 自分に与えられた小さな責任がどれほどの影響をまわりに与えるか考えてみましょう。また与えられている賜物はどのくらい用いられているのでしょうか？
3. 11節の言葉の意味と、これを語られた主の思いを味わってみましょう。

### 4日（木）エゼキエル書 33：21～33節 エルサレムの陥落

1. 23節からの主のことばが語られた時の状況が21～22節に書かれています。この時の主の思いを考えてみましょう。
2. 29節にエゼキエル書に度々出てきた「彼らは、わたしが主であることを知ろう。」という言葉が書かれています。この時に彼らはどのような意味で主であることを知るようになると思いますか？

### 5日（金）エゼキエル書 34：1～16節 イスラエルの指導者に対するさばき

1. この章は「イスラエルの牧者たち」（2節）に対する預言です。彼らはどのような立場の人々だったのでしょうか？しかし、実際に彼らがしていた事はどのような事だと言われていますか？
2. 牧者の知恵は羊には必須です。ただその牧者が羊をかえりみなくなった時、どんなことがおきますか？あなたには任せられた羊の牧者としての自覚はどうでしょうか？

### 6日（土）エゼキエル書 34：17～31節 ひとりの牧者

1. 11節で「わたしは自分でわたしの羊を捜し出し、これの世話をする。」と言われる主のことばが続いています。主のことばを読みながら主のどんな思いを感じますか？
2. この章であなたにとって最高のことばは何でしょうか？

**\*今週の箇所から3日以内に始められ、具体的、実現可能で計測することができる計画を聞いてみましょう。**